



五とせはげむ
学び舎の

CONTENTS

P2 ▶ 新年度を迎えて

P4 ▶ 学年初めにあって

P5 ▶ クラス担任の言葉

P6 ▶ 専攻主任の言葉

P7 ▶ 中学校だより

P8 ▶ 平成30年度第3回学生表彰受賞者

P9 ▶ 部・同好会の紹介

P10 ▶ 平成31年度行事予定表

～新年度を迎えて～



入学おめでとう

校長 田村 隆弘

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

本年度、新一年生204名、マレーシアとモンゴルからの留学生3名、ならびに専攻科生31名のあわせて238名の学生が、ここ福井工業高等専門学校に入学されますことを、本校を代表して心より歓迎いたします。

高等専門学校制度は、1950年代後半から我が国が著しく経済成長する中で、産業界からの強い要請に応える形で、実践力のある技術者を養成する高等教育機関として設立されました。福井高専も、この日本の高度成長期の只中に創設され、今日までに8,500名を超える卒業生を送り出しています。もちろん、卒業生の皆さんは、福井県内はもとより国内外の産業界で、また、様々な分野で活躍しておられます。

さて、皆さんは今、これから始まる高専生活に希望と期待で胸を膨らませ、そして、凛とした雰囲気の中、一抹の緊張感に背筋を伸ばしておられることと思います。どうか今の気持ち、「初心」を忘れずに過ごしてください。夢と希望、そして、緊張感は、人が生きていく上で、そして、成長していく上で大切な原動力です。

社会が科学技術の進化により急激に発展し、グローバル化が加速する中で、科学技術者には、様々な課題を解決するために、専門の知識のみならず、信頼できる人物であるべく誠実さが求められます。本校では、高専の特色を活かした科学技術教育を行うと同時に、調和のとれた知育、徳育、体

育を行い、心身ともに健全な科学技術者を育成することを使命としています。

そうした意味で、まず、人として誠実であってください。そして、健康な体づくりにも取り組んでください。それから、しっかり一般科目や専門の知識と実践的な技術を身につけてください。挨拶や清掃活動は、本校において最も大切にしている人格形成の基本となるものです。部活動も皆さんが成長する上で大切です。ただし、部活動は目的を明確にして、適切に取り組んでください。授業を大切にしてください。「授業」という漢字は、業(ゴウ)を授け、授かると書きますが、業(ゴウ)とは、「未来の基となるもの」という意味です。自宅での自学自習も、授業で出された宿題を済ませることのほか、毎日の予習復習も日課としてください。卒業の日まで、毎日欠かさずに自学自習をした人と、そうでない人には、自ずと大きな差が生まれます。

近年のデジタル化社会、超高速通信社会は、確かに人類を豊かにする方向に進化しています。これからは、ロボット+IoT(モノのインターネット)+AI(人工知能)の時代と言われています。これらは、言うまでもなく科学技術者が進化させているものですが、科学技術の進化は、ともすると自然を破壊し、人類社会をも破滅の道に誘う危険性を秘めています。全ての科学技術の進化は、戦争の武器の高度化にも繋がるのです。新たな技術を平和利用へと誘うことも科学技術者の最も重要な使命です。

どうか、新入生の皆さんには、この学び舎で素晴らしい科学技術者へと成長し、ご家族をはじめ身近な人から地域の人々、そして、我が国のみならず世界の人々を幸せにする「信頼される人」となってください。今が、そのスタート地点です。皆さんの健闘を期待し、そして、卒業の日に、成長した姿にお目にかかれることを楽しみにしています。

～新年度を迎えて～



教務主事 藤田 克志



学生主事 辻子 裕二

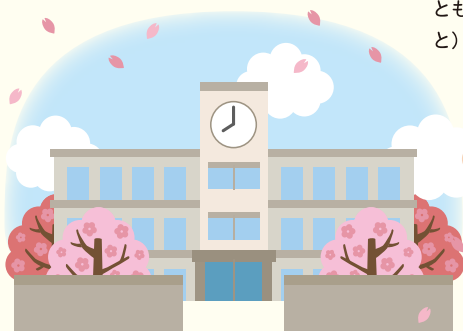


寮務主事 原口 治

新年度を迎えてーグライダーと飛行機

外山滋比古氏の『思考の整理学』は「グライダー」の話から始まります。1986年に出版されているこの本では、学校教育は、知識偏重のグライダー人間ばかり作り、飛行機人間は作らないと批判されています。しかし、こんなことも記述されています。「人間には、グライダー能力と飛行機能力とがある。受動的に知識を得るのが前者、自分でものごとを発明、発見するのが後者である。両者はひとりの人の中にも同居している。グライダー能力をまったく欠いていては、基本的知識すら習得できない。何も知らないで、独力で飛ぼうとすれば、どんな事故になるかわからない。」

これってきみたちが受けている高専教育のことをいっていると思いませんか。講義で知識を蓄え、体験型学習でものごとを自分で発見し、理解していく。高専の教育課程には、高校・大学と比較して体験型学習の時間が多く組み込まれています。つまり、きみたちは、グライダー人間でもあるし飛行機人間でもある、ということになります。学生諸君は、将来、大空を自力で飛ぶために、自分の機体にどのようなエンジンを搭載・整備するかを日々の勉強から意識して取り組んでください。



新年度を迎えて

新入生を迎え、活気に満ち溢れた新年度がスタートしました。この時期に持つ独特の高い意識を堅持されることを強く願っています。さて、新入生諸君は個々に新たな目標を掲げ、その達成を目指し階段を一段一段上っていくことでしょう。ただし、その過程で様々な障壁に直面することも想定されます。ここでは、その困難を克服するコツを少しだけお伝えします。

『過ちを改めざる、これを過ちと謂う』は、論語の一節です。過ちは、それを改めないことが本当の過ちであると孔子は説きます。学生諸君は学生という身分を存分に活かし、挑戦して欲しいのは言うまでもありません。しかし、ときに失敗することもあるでしょう。これに対し、先の言葉は「失敗を失敗に終わらせない」ことが大切との示唆です。失敗こそが成功へのステップとも捉えられます。ただ、同じ失敗を二度繰り返してはいけません。そこに必要なのは「修正」する力です。

昨今、SNS等で残念な報道を知る機会が増えました。そのような事態になるまでに、いくらかでも「修正」するタイミングがあったはずですが、「いいね！」なる見かけの“利”に固執せず、正しい“義”をもって生活を送れば、適切な友人が知らぬ間に「修正」してくれることもあります。すなわち『君子は義に喩(さと)り、小人は利に喩る』のです。

『青武寮』より新入生の皆さんへ

「平成」最後の新入学生の皆さんと共に、新たな時代の福井高専の歩み(歴史)を刻むことを大変嬉しく思います。本校には学生寮(通称『青武寮』)が敷地内にあります。『青武寮』からも新入生の皆さんの入学を心から祝します。

現在、『青武寮』には遠隔地出身の200名余りの学生が在寮しています。アジア各国からの留学生も一緒に生活を送っています。つまり、本校学生の5分の1強が「寮生」となります。

高等教育機関である高専(高等専門学校)は、国内外から継続して高い評価を得ています。その中で、学寮(教育寮)は高専教育に大きな貢献を果たしている、と私は確信いたします。大多数の寮生が15歳から共同生活を送り、他者とのコミュニケーションを基調に、大所帯の寮を支えています。月並みですが、毎日の生活(衣食住)を共同で積み上げていく作業が肝要です。寮生の自治組織である寮生会の活動がその核になっています。

生活環境の違いを越え、通学生と寮生、それぞれの価値観が上手くブレンドされ、福井高専全体の発展につながるものが、私の理想です。今後、何か支援できることがあれば、何時でも私の研究室(本館3階)を訪ねてください。福井高専入学をきっかけに、自分の思いや考えを相手に伝え、理解してもらおう訓練を、日常から意識し実践してみましよう。

末筆ですが、新入生の保護者の皆様に、お子様のご入学のお祝いを心から申し上げます。本校学寮(『青武寮』)へ、今後も貴重なお力を賜りますよう、何卒お願いいたします。

*福井高専学寮『青武寮』のHP:
<https://www.seiburyo.org/>

～新年度を迎えて～



専攻科長 佐藤 匡

響く

新年度を迎えました。新入学生のみならず、ご入学おめでとうございます。

さて、福井高専には無響室という実験室があります。無響室は、音の反響をほとんど無視できるほど小さくした部屋です。反響が無いこの部屋で目を閉じてみます。無限の空間の広がりを感じ開放感を味わえるかというと、実はそうではありません。逆に、圧迫感、閉塞感を強く感じます。

コウモリやイルカは反響定位（エコーロケーション）を使う動物として知られています。反響定位とは、音や超音波を発生し、その反響によって物体の距離・方向・大きさなどを知ることです。無響室で圧迫感、閉塞感を強く感じるのは、人もまた、音の響きによって空間の広がりを認知しているからではないでしょうか。

打てば響くとは、すぐに反応がある、すぐに結果があらわれることです。反応が素早いだけでなく、その反応が優れている意味もあるようです。心に響くとは、強く感銘を受け印象に残ること、心に残るような強い印象があるさま、人の話などが相手を感じさせるさまのことです。

響き合う関係は、相手や対象との距離感を心地よく保ちやすいのかもしれませんが。武道では時間的、距離的、心理的な距離を間合いといい、ある武道家は「人間関係の達人は間合いの達人である」と言いました。

新入生のみなさんは、これから新しい環境で新しい人間関係を作ります。ぜひお互いに響き合う関係を作り、理想的な間合いを会得して下さい。

～学年初めにあって～



図書館長 森 貞

学年末には、どれに丸をつけますか？

2019年2月13・14日に、2・3年生各2クラス(151人)を対象に緊急実施した「図書館利用に関するアンケート調査」の結果を以下に示します。

1. 利用頻度(平成30年度)
 - (1) 毎日[2 (1%)] (2) 週に1～数回[21 (14%)] (3) 月に1～数回[77 (51%)] (4) 年に1～数回[49 (33%)] (5) 利用していない[2 (1%)]
 2. 利用目的(複数回答可)
 - (1) パソコンの利用[93 (62%)] (2) 読書[23 (15%)] (3) 試験勉強(レポート作成を含む)[122 (81%)] (4) 書籍等の借用[39 (26%)] (5) DVD, CD等の視聴[23 (15%)] (6) グループディスカッション(於:図書館内のアクティビティールーム)[22 (15%)]

本年度末の同時期に同様のアンケートに回答することになったら、あなたはどれに丸をつけることになるでしょうか？(心の声:図書館長としては、利用頻度(1)(2)の割合が増えるとうれしいなあ)

ここでPRを一つ。購入してほしい書籍がある場合には、図書館のホームページの「本のリクエスト」からリクエストができます。是非、利用してください。

最後に余談を一つ。『NHKスペシャル』(2018年10月13日放映)によれば、延べ41万人分のビッグデータを対象に「健康寿命を伸ばす生活習慣」をAIに分析させたところ、「本や雑誌をよく読む」という項目が、2位以下をダントツに引き離して、119もの健康要素と繋がっていたそうです。あくまでも、余談です。



学生相談室長 中谷 実伸

学年はじめにあたって

新入生の皆さん。まずご入学おめでとうございます。

これまでとは違う制服、教室、クラスメート。どれをとっても新鮮で、期待に胸膨らませるのと同じくらいに、また不安も抱えているのではないのでしょうか。

授業時間はこれまでの倍近い90分になり、その内容も難しく、また様々な分野に亘ります。特に高専は専門科目という、中学までには体験したことのない授業もあります。

このような新しい環境の中で過ごす5年間で、皆さんは心身共に大きく成長を遂げることになります。この大切な成長の期間のサポートをし、皆さんの高専生活をより充実したものにするために、学生相談室と保健室が存在します。場所は食堂や売店のある福利厚生棟2階。学生相談室には2名の専門のカウンセラーの先生と相談室員がいます。また、保健室には看護師さんがいます。

慣れない環境に心身が不調になったとき。ストレスを感じたり、どう勉強したらよいかわからなくて困ったりしたとき。友達や家族との関係に悩んだとき。自分一人では解決できないような問題にぶつかったとき。そんなときには、いつでも気軽に、学生相談室や保健室まで来てください。

～クラス担任の言葉～



F1クラス担任 藤田 卓郎

「自ら学ぶ」ということ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

さて、新入生の皆さんに、我々1年生の担任が持つ思いを知ってもらうために、過去3年分(2016年～2018年)の青武台だより(本校HPに掲載)を読み直し、6つにまとめました。

1つ目は、主体性をもつことです。自ら積極的に学ぶ姿勢を身につけましょう。

2つ目は、努力をすることです。現実と向き合い、日々の課題を着実にこなしましょう。

3つ目は、自分を知ることです。やる気や感情、計画性や協調性をコントロールできるようになりましょう。

4つ目は、交流です。心を開き、友人、先輩、教員と積極的な交流を心がけましょう。助けが必要ならば、はっきりと伝えましょう。

5つ目は、何かに打ち込むことです。自分が夢中になれることをこの5年間で見つけましょう。

6つ目は、将来を見据えることです。どのような人間になりたいのかをよく考えながら、高専5年間で過ごしましょう。

たった3年分の青武台だよりを見直すだけでも、このようなことが分かります。自ら学ぶ姿勢を持てば、様々な知識や技能を身につけることができます。5年間の高専生活、ぜひ精進してください。



F2クラス担任 相場 大佑

新入生の皆さんへ

ご入学おめでとうございます。これから始まる福井高専での新たな生活に、期待と不安で胸がいっぱいのことと思います。

高専は卒業するまでに5年間かかります。5年間と聞くと、非常に長いように感じますが、あっという間に時間が過ぎて卒業をすることになるかと思えます。この5年間で有意義に過ごすためにも、まずは規則正しい生活を送ることが大切です。当り前のことを言っているように聞こえるかもしれませんが、意外と難しいことです。生活リズムが一度崩れてしまうと取り戻すことは容易ではなく、学業へ影響が出て、最終的には取り返しのつかないこととなります。きちんと自分をコントロールし、何が良く何が良くないのかを判断できるようにしましょう。

また、普段の生活で何か困ったことがあれば、素直に周囲の人を頼りましょう。人任せとは違います。誰でも初めから一人で出来るわけではないので、困ったことがあれば友人・先輩方・先生方へ相談をするようにしましょう。助けになってくれるはずですよ。

これから忙しい日々が始まりますが、早く自分なりの生活リズムを確立して、勉強・部活動に一生懸命取り組み5年間一緒に頑張っていきたいと思います。



F3クラス担任 東 章弘

歩くことのメカニズム

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんは福井高専でのものづくり、環境づくりに興味を抱き、専門的な勉強を通じて自分を高めるべく、さぞや大きな期待を持ってそのスタートラインに来られたことと思います。

ものづくり、環境づくりは外界の出来事ですが、「歩く」という身体運動を科学的に考えてみますと、ヒトは歩くとき、片方のかかとが接地してのち、身体重心が一度持ち上がり、もう片方のかかとの接地時にその重心が下がります。重心を持ち上げることで得られた位置エネルギーは運動エネルギーに一部変換され、筋活動とともに前方への推進に利用されます。そしてそれが繰り返されて歩いています。

「歩く」という営みは、さも、学んで自分自身を高め、学問的、人間的に自己を前進させるメカニズムのように捉えられるかもしれませんが、特段の苦勞もなく「歩く」動作ができるのは、そのスキルや身体資源(体力)の獲得によるものであり、幼少期には多くの失敗や試行錯誤をしてきたはずですよ。例えの話ではありますが、高専での5年間、何度も重心を持ち上げながら自己の前進に役立させていくスキルと体力を身に付けていってほしいと思います。



～クラス担任の言葉～



F4クラス担任 山田 哲也

新入生の皆さんへ

ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を心から歓迎するとともに、胸に刻んでほしいことを3つ書きたいと思います。

1つ目は心身ともに健康でいてください。健康で過ごすことが学生生活を送る上での基礎となります。2つ目は将来どうなりたいかを考えてください。この問いは直ぐに答えの出るものではありませんし、現段階で答えが出る学生は少ないと思います。だからこそ、日々の学生生活を大切に過ごし、卒業する頃には自分の答えをもって次のステップに進むことを望みます。3つ目は勉学に励んでください。これができれば自分の可能性が大いに広がりますし、なりたい自分になれる可能性が高まると私は考えます。

最後に困ったことや悩みごとがあれば、私も含めて教職員に気軽に相談してください。必ず皆さんの強い味方になってくれるはずですよ。皆さんがよりよい高専生活を送れるように精一杯努めていきます。これから1年間どうぞ宜しくお願いいたします。



F5クラス担任 川畑 弥生

新入生のみなさんへ

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。ほとんどの人は慣れない環境の中で毎日を慌ただしく過ごしているかと思います。高専は普通の高校と違って、授業は90分ありますし、1年生から少しずつ専門科目の勉強もはじまります。また、寮生活をはじめた人は、学習面だけでなく身の回りの生活についても毎日新しい経験をしているのではないのでしょうか。5年間という高専生活の中で、勉強はもちろんですが、クラブ活動や学内外のイベントに積極的に参加し、自分の人生の選択肢を増やしていただきたいと思っています。

そんなみなさんに1点だけ、大切にしてほしいことがあります。それは「なぜ福井高専に入学したか」、自分の目標に重なるその答えを忘れないでほしいということです。5年間の学生生活の中では、時には誘惑に負けそうになったり、進路のことで迷ったり、まわりと違う生き方を選ぶことに不安を感じることもあるかもしれません。そんなときに自分の目標を覚えていれば、自分のすべきことが分かるようになります。それでも迷ってしまったときは、いつでも相談に来てください。これからよろしくお祈りします。



～専攻主任の言葉～



生産システム工学専攻主任 加藤 寛敬

専攻科によるこそ

ようこそ専攻科へ。皆さんの専攻科入学を歓迎いたします。専攻科には、PBL型教育やグループワーク、海外インターンシップなど、特徴ある様々なカリキュラムが準備されています。その中でも最も単位数の多い特別研究があります。そこで、特別研究について紹介したいと思います。

1年生では特別研究Ⅰ、2年生では特別研究Ⅱという科目があり、2年かけてより高度な研究に深く取り組みます。本科5年生の卒業研究と合わせて3年間継続して同じテーマを研究する場合もあると思います。ただし同じ環境だからといって卒業研究と同じ気分を取り組むのではなく、心新たに、主体性やリーダーシップを持って取り組んで欲しいと思います。

まず、自分の研究のオリジナルティを明確にするために、文献などで先行研究を詳しく調査するとよいでしょう。また、探求心を持って自分が納得するまでトコトン極める姿勢が大事です。得られた研究成果は、テクノフェア以外の学外学会にも是非発表してください。海外の国際学会で発表したり、優秀賞を受賞する専攻科生も珍しくありません。

特別研究には、専攻科の学習教育目標を達成する項目が多く含まれています。立派なエンジニアになれるよう、特別研究にも力を入れて頑張ってみてください。2年後にはきっと大きく成長していることと思います。

～専攻主任の言葉～



環境システム工学専攻主任 吉田 雅穂

君のSDGs

専攻科ご入学おめでとうございます。本科5年間の課程を終え、新たな気持ちで本校の門をくぐったことと思います。あつという間の専攻科の2年間に有意義に過ごすためには、適切な目標を自ら設定してコツコツと達成していくと良いでしょう。

目標設定の道具としてSDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)の利用をお薦めします。これは、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、人間と地球のための行動計画であり、国連加盟193カ国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた世界共通の目標(17のゴールと169のターゲット)です。多くの企業や自治体がどの目標にどの様に貢献していくかを考えており、地元鯖江市でもSDGs推進に取り組んでいます。

難しい話に聞こえますが、例えば「使っていない照明を消す」は「目標7: エネルギー」への貢献となります。また、専攻科で学ぶ専門知識や研究活動が、どのゴールやターゲットに貢献しているのかを考えると、学びの意義を感じることができます。その積み重ねが自身の成長となり、かつ、個人レベルで国連が目指す持続可能な開発に貢献することになります。君たちが32歳となる2030年はまだまだ先ですが、当面の2年後に向けて適切な目標を考えてみてください。

～中学校だより～

中学校から

自然豊かな勝山南部中学校

勝山南部中学校 小山 陸

勝山南部中学校は、全校生徒220人の自然に囲まれた伝統のある中学校です。ユネスコスクールに指定されており、ユネスコ委員会が中心になって全校ボランティアや服のちからプロジェクトなど、全校を挙げて地域や社会に貢献する試みをしています。また、SDGsに関する記事を放送で紹介し、持続可能な社会にむけて自分たちができることを考え始めています。その他にも勝山南部中学校には以下の3つの素晴らしい特徴があります。

1つめは清掃です。生徒全員で黙働清掃をし、開始時間前に掃除を始めています。その場所を使う人の気持ちになり、自ら考えて汚れている場所を掃除します。また、黙働清掃を日々時間いっぱい行うことで、自分の心も磨かれます。

2つめは行事です。3年生にとって体育大会は最も大きな行事で、夏休み前から準備を始めます。勝山南部中学校の応援合戦はストーリー仕立てで行われます。自分たちで考えたストーリーに劇やダンス、応援歌を組み合わせています。毎年オリジナリティがあり、盛り上がります。

3つめはあいさつです。生徒会の人たちを中心に、伝統である「響く声のあいさつ」がより良くなるようがんばっています。特に朝のあいさつでは、毎日部活動ごとに当番で生徒玄関にたち、登校してくる生徒にあいさつをしています。また、金曜日には有志のメンバーであいさつ運動をする「あいさつ隊」という取り組みをしています。校長先生や学年の先生方も玄関に立ってくださり、顔を合わせてあいさつするところから毎日が始まります。

これらの勝山南部中学校の良い伝統をさらに良くしていけるように学校全体で協力してがんばっていきます。



～平成30年度第3回学生表彰受賞者～

***** 校長特別賞 *****

👑 5年間通して学業成績優秀者 👑

電子情報工学科5年
石本 優太



今回はこのような素晴らしい賞をいただけて嬉しく思います。これも偏に、5年間応援し続けてくれた家族や、周りの先生方、クラスメイトのおかげです。今後大学に進学しても、福井高専で身につけた学びの習慣を絶やさず、精進し続けたいと思います。

電気電子工学科5年
松本 大輝



この度は校長特別賞を頂戴することができ、とても光栄に思います。このような名誉ある賞を頂戴することができましたのは、環境都市工学科の辻野和彦准教授のおかげです。辻野准教授は私が1年生の時に「勉強は最初が肝心です。最初にしっかりとけばそのまま5年間頑張れます。」という話をしてくださいました。私はその言葉があったからこそ1年生のときから勉学に励むことができました。進学後もこの言葉を忘れず勉学に励みたいで。

***** 校長賞 *****

👑 4年間(4回)学業成績優秀者 👑

電子情報工学科5年
高木 誠



このたびは校長賞をいただき光栄に思います。多くの学生が切磋琢磨し順位を競い合っている中、私は成績や順位を気にすることなく自分が満足するまで勉強していたため、その努力が認められ嬉しく思います。四月からは就職して社会に出ますが、これまでの経験を活かして頑張っていきます。



***** 奨励賞 *****

👑 1年間学業成績優秀者 👑

学科・学年	氏名	学科・学年	氏名
機械工学科5年	山口 剛典	電気電子工学科5年	松田 尚大
電子情報工学科5年	高間 海人	電子情報工学科5年	久木 開斗
電子情報工学科5年	松崎 宙	電子情報工学科5年	松村 大輝
電子情報工学科5年	山本 雄太	物質工学科5年	藤田 結衣
環境都市工学科5年	高橋 未紗		

👑 TOEICにおいての成績優秀者 👑

学科・学年	氏名	学科・学年	氏名
機械工学科5年	久野 万由子	電気電子工学科5年	窪田 圭佑

部・同好会の紹介

部活動として体育部が21、文化部が6、同好会が17あり、幅広い分野で活発な活動が行われています。



体育部 ラグビーフットボール部

ビーチラグビーやタッチラグビー、たんぼラグビーなど接触プレーのない男女合同で行える大会への出場を目指し、新入部員を募集しています。初心者大歓迎です。今秋、日本で開催されるラグビーワールドカップと一緒に応援しましょう！

指導教員 吉田 雅穂、山田 健太郎



体育部 硬式野球部

硬式野球部は、低学年と高学年チームに分かれて活動しています。低学年チームは、夏の選手権大会で2年連続県大会ベスト8の成績を収めています。高学年チームは全国高専大会優勝、低学年チームは県大会ベスト4を目指して練習しています。

指導教員 辻野 和彦、青木 宏樹、奥村 充司



体育部 男子バスケットボール部

経験者から未経験者まで一緒に練習に励んでいます。1~3年生は高校生大会に、チーム全体では高専大会や一般大会に出場、全国高専大会出場が目標です。

指導教員 松井 一洋、藤田 卓郎、米田 知晃、阿部 孝弘



体育部 ソフトテニス部

主に低学年が活動しており、高専大会に毎年出場しています。また、練習は来られる日に自由に参加出来ます。経験者は勿論、初心者の人でも気軽に参加できる部活となっているので、入部をお待ちしております。

指導教員 佐藤 勇一、小松 貴大



体育部 柔道部

経験者・未経験者問わず、部員それぞれのペースで練習を行っています。全国高専体育大会出場を目標に頑張っていますが、経験者に限らず未経験者の入部もお待ちしております。

指導教員 相場 大佑



文化部 エレクトロメイキング部

主に電子工作をする部活ですが専門的な知識は必要なく初心者や未経験者が所属しています。毎週木曜に活動予定で基本的に自分の好きな物を作ることができるとも自由な部活です。

指導教員 松浦 徹、佐藤 匡

その他の部・同好会一覧

体育部門

- ・陸上競技
- ・バドミントン
- ・女子バスケットボール
- ・卓球
- ・軟式野球
- ・男子バレーボール
- ・女子バレーボール
- ・剣道
- ・テニス
- ・水泳
- ・合気道
- ・サッカー
- ・少林寺拳法
- ・空手
- ・ソフトボール
- ・ハンドボール

文化部門

- ・吹奏楽
- ・ロボット
- ・モダンミュージック
- ・英語
- ・囲碁・将棋

同好会

- ・天文
- ・茶道
- ・IT研究会プロフォ
- ・日本現代視覚文化
- ・サイエンスクラブ
- ・フットサル
- ・放送・メディア研究会
- ・ダンス
- ・音鍵研究会
- ・Structural Design研究会
- ・スポーツライミング
- ・写真
- ・アマチュア無線研究会
- ・グラフ電卓研究会
- ・珈琲
- ・空間デザイン研究会
- ・小型模擬人工衛星

平成31年度行事予定表 前期

4 月			5 月			6 月		
1	月	春季休業(～3日)	1	水	祝日(即位の儀)	1	土	高校春季総体県予選
2	火		2	木	国民の休日	2	日	高校春季総体県予選
3	水	入寮式(10:30) 新入寮生オリエンテーション(11:00) 閉寮	3	金	憲法記念日	3	月	
4	木	入学式(10:00) HR(1～3年, 11:00) 教育後援会総会(12:00) 教科書販売(2・3年, 13:00) 保護者懇談会(13:30)	4	土	みどりの日	4	火	金曜日の授業
5	金	一斉健康診断(本科・専攻科) 専攻科オリエンテーション 課題確認テスト HR(4・5年) 教科書販売(4・5年, 専攻科, 13:00)	5	日	こどもの日	5	水	
6	土		6	月	閉寮	6	木	前期中間学力確認週間(試験または授業)
7	日		7	火		7	金	前期中間学力確認週間(試験または授業)
8	月	前期授業開始	8	水		8	土	
9	火		9	木		9	日	
10	水	短縮授業 放課後:新入生歓迎会、クラブ紹介	10	金		10	月	前期中間学力確認週間(試験または授業)
11	木		11	土	舞鶴交歓試合	11	火	前期中間学力確認週間(試験または授業)
12	金	新入生オリエンテーション合宿	12	日		12	水	前期中間学力確認週間(試験または授業)
13	土	新入生オリエンテーション合宿	13	月		13	木	前期中間学力確認週間(特別時間割試験) 専攻科授業
14	日		14	火		14	金	前期中間学力確認週間(特別時間割試験) 専攻科授業
15	月		15	水		15	土	
16	火		16	木		16	日	
17	水	放課後:校長表彰・校長訓示 学生総会	17	金		17	月	前期中間学力確認週間(特別時間割試験) 専攻科授業
18	木		18	土	寮祭	18	火	
19	金		19	日	寮祭	19	水	結団式
20	土		20	月		20	木	
21	日		21	火		21	金	
22	月		22	水	4年TOEICIP	22	土	
23	火		23	木		23	日	専攻科学力選抜
24	水	開校記念日 休講 球技大会	24	金		24	月	
25	木		25	土	専攻科推薦選抜	25	火	
26	金	不合格科目の合格認定に関する計画書提出締切日	26	日		26	水	
27	土	閉寮	27	月		27	木	
28	日		28	火		28	金	
29	月	昭和の日	29	水	休業 高校春季総体県予選 大学院研究室訪問(専攻科1年)	29	土	北陸地区高専体育大会(石川高専:ラクビー・野球)
30	火	国民の休日	30	木		30	日	北陸地区高専体育大会(石川高専:野球)
7 月			8 月			9 月		
1	月		1	木	本科期末試験 専攻科水曜日の授業	1	日	全国高専体育大会(バレー男女・ソフトテニス)
2	火		2	金	本科期末試験 専攻科火曜日の授業	2	月	
3	水		3	土		3	火	
4	木		4	日		4	水	
5	金		5	月	本科・専攻科期末試験	5	木	
6	土	北陸地区高専体育大会(石川高専)	6	火	本科・専攻科期末試験	6	金	
7	日	北陸地区高専体育大会(石川高専)	7	水	本科・専攻科期末試験	7	土	編入学試験
8	月		8	木	本科・専攻科期末試験 試験終了後HR大掃除	8	日	
9	火		9	金	夏季休業(～9/13)、キャンパスツアー準備	9	月	
10	水		10	土	閉寮	10	火	
11	木	在学生保護者対象授業参観	11	日	山の日 キャンパスツアー	11	水	
12	金	在学生保護者対象授業参観	12	月	振替休日	12	木	
13	土	寮生保護者会	13	火		13	金	
14	日		14	水		14	土	
15	月	海の日	15	木		15	日	
16	火	月曜日の授業	16	金	全国高専体育大会(陸上)	16	月	敬老の日 閉寮
17	水		17	土	全国高専体育大会(陸上)	17	火	専攻科休業
18	木		18	日	全国高専体育大会(陸上)	18	水	専攻科休業
19	金		19	月		19	木	専攻科休業
20	土	(授業予備日)	20	火	全国高専体育大会(サッカー)	20	金	専攻科休業
21	日		21	水	全国高専体育大会(サッカー・テニス)	21	土	
22	月		22	木	全国高専体育大会(サッカー・テニス)	22	日	
23	火		23	金	全国高専体育大会(剣道・サッカー・テニス・水泳)	23	月	秋分の日
24	水		24	土	全国高専体育大会 (バスケット男女・卓球・柔道・剣道・サッカー・水泳)	24	火	(短縮授業) 月曜日の授業・専攻科ガイダンス
25	木		25	日	全国高専体育大会 (バスケット男女・卓球・柔道・剣道・サッカー・水泳)	25	水	学力強化期間・専攻科試験返却
26	金		26	月	全国高専体育大会(ハンドボール)	26	木	学力強化期間・専攻科試験返却
27	土		27	火	全国高専体育大会(ハンドボール)	27	金	休講 体育祭(延期の場合は休業)
28	日		28	水	全国高専体育大会(ハンドボール)	28	土	体育祭予備日
29	月		29	木		29	日	
30	火		30	金	全国高専体育大会(バレー男女・ソフトテニス)	30	月	後期授業開始
31	水	本科授業予備日、専攻科ガイダンス	31	土	全国高専体育大会(バレー男女・ソフトテニス)			

平成31年度行事予定表 後期

10 月		11 月		12 月	
1	火	1	金 3年研修旅行(解散日)	1	日
2	水 防災訓練(予定)	2	土 3年研修旅行(自主研修旅行)	2	月 後期中間学力確認週間(試験または授業)
3	木	3	日 文化の日	3	火 後期中間学力確認週間(試験または授業)
4	金 (キャンパスリサーチ準備)	4	月 振替休日 専攻科社会人特別選抜	4	水 後期中間学力確認週間(特別時間割試験) 専攻科授業
5	土 キャンパスリサーチ	5	火 月曜日の授業	5	木 後期中間学力確認週間(特別時間割試験) 専攻科授業
6	日	6	水	6	金 後期中間学力確認週間(特別時間割試験) 専攻科授業
7	月	7	木	7	土 全国高専デザインコンペティション(都立産業技術高専)
8	火	8	金	8	日 全国高専デザインコンペティション(都立産業技術高専)
9	水 放課後:専攻科インターンシップ報告会	9	土	9	月
10	木	10	日 午前中 1年工業英検	10	火
11	金	11	月	11	水 Jointフォーラム(予定)
12	土	12	火	12	木
13	日 全国高専プロコン(都城高専)	13	水	13	金
14	月 体育の日 全国高専プロコン(都城高専)	14	木 在学生保護者対象授業参観	14	土
15	火	15	金 在学生保護者対象授業参観	15	日
16	水 (弁論大会の準備)	16	土 保護者懇談会	16	月
17	木 休講 午前:弁論大会 午後:高専祭準備・クリーン大作戦	17	日	17	火
18	金 休講 高専祭	18	月	18	水
19	土 高専祭	19	火	19	木
20	日 高専祭 東海北陸地区ロボコン(豊田高専)	20	水	20	金
21	月 休講(高専祭片付け) 午後:校外実習発表会	21	木	21	土 閉寮
22	火 祝日(即位礼正殿の儀)	22	金	22	日
23	水	23	土 勤労感謝の日	23	月 冬季休業(~1/6)
24	木 北陸技術交流テクノフェア(専攻科生校外発表)	24	日 全国高専ロボットコンテスト(両国国技館)	24	火
25	金 北陸技術交流テクノフェア(専攻科生校外発表)	25	月	25	水
26	土 専攻科・大学・大学院合同説明会	26	火	26	木
27	日	27	水 後期中間学力確認週間(試験または授業)	27	金
28	月	28	木 後期中間学力確認週間(試験または授業)	28	土
29	火 3年研修旅行	29	金 後期中間学力確認週間(試験または授業)	29	日
30	水 文化体験日 ただし、3年研修旅行 2年校外研修	30	土	30	月
31	木 3年研修旅行			31	火
1 月		2 月		3 月	
1	水 元日	1	土	1	日
2	木	2	日	2	月 特別学習
3	金	3	月	3	火 特別学習
4	土	4	火	4	水 本科5年卒研発表、特別学習
5	日 閉寮	5	水 本科期末試験 専攻科月曜日の授業	5	木 休業 5年卒業研究 5年HR 達成度評価シート記入
6	月	6	木 本科期末試験 専攻科火曜日の授業	6	金 休業 キャリア教育セミナー(予定)
7	火 授業開始 月曜日の授業	7	金 本科期末試験 専攻科期末試験	7	土 閉寮
8	水	8	土	8	日
9	木	9	日	9	月 休業
10	金	10	月 本科期末試験 専攻科期末試験	10	火 休業
11	土	11	火 建国記念の日	11	水 休業
12	日	12	水 本科期末試験 専攻科1年期末試験・2年試験返却	12	木 休業
13	月 成人の日	13	木 本科期末試験 専攻科1年期末試験・2年試験返却 試験終了後HR大掃除	13	金 休業
14	火	14	金 授業予備日	14	土
15	水 放課後:校長表彰・校長講話	15	土	15	日
16	木	16	日 学力選抜検査日	16	月 休業
17	金	17	月 休業	17	火 休業
18	土	18	火 休業	18	水 休業
19	日 推薦選抜検査日	19	水 専攻科休講	19	木 卒業・修了式
20	月	20	木 専攻科休講	20	金 春分の日
21	火	21	金 専攻科休講	21	土
22	水 放課後 専攻科特別研究II発表会	22	土	22	日
23	木 短縮授業 放課後 専攻科特別研究I発表会	23	日 天皇誕生日	23	月 学年末休業(~3/31)
24	金	24	月 振替休日	24	火
25	土 全国高専英語ブレコン(オリンピックセンター) (授業予備日)	25	火 専攻科休講	25	水
26	日 全国高専英語ブレコン(オリンピックセンター)	26	水 月曜日の授業 専攻科休講	26	木
27	月	27	木 特別学習 専攻科1年試験返却	27	金
28	火	28	金 特別学習 専攻科1年試験返却	28	土
29	水	29	土	29	日
30	木			30	月
31	金			31	火

平成30年度 卒業・修了式



編集後記

昨年の大雪がはるか昔のように感じ、あっという間に一年が過ぎたことを実感しています。青武台だよりも新デザインになり一年経ちましたが、私の担当は今回で最後になります。初めは戸惑うことも多かったのですが、周りの方々に支えられてなんとか無事？に終えることができましたと思います。次号以降もより良い青武台だよりになると思いますので、今後とも宜しくお願い致します。(相場)

青武台だより

独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校
発行日：平成31年4月4日

お問い合わせ

福井工業高等専門学校
〒916-8507 福井県鯖江市下司町
TEL:0778-62-1111